

大腸内視鏡検査 同意書

【大腸内視鏡検査について】

内視鏡を肛門から挿入し、細心の注意を払いつつ、直腸から盲腸、回盲部までを、詳しく観察する検査です。腸管への負担の少ない、安全性の高い挿入法を行います。検査時間は10-15分前後です。必要時、組織検査を行います。

【偶発症】

- ①内視鏡挿入に伴うリスク：非常にまれですが、術後癒着などにより腸管出血や穿孔（腸管に穴が開くこと）があります。（多数の自験例で、穿孔率は0%です。）
- ②組織検査後の出血：稀ではありますが、帰宅後に出血が続ければご連絡ください。
- ③アレルギー・鎮静剤によるもの：注射部の血管痛／蕁痺／ショック／呼吸抑制等。
※これらの予期せぬ偶発症は、稀ではありますが入院が必要になることもあります。
ご理解の程、宜しくお願ひします。

【麻酔（鎮静剤と鎮痛剤）を使用した大腸内視鏡】

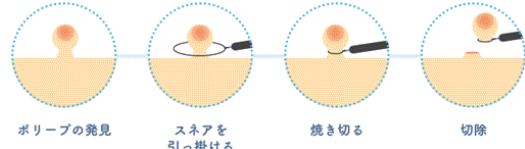
- ①鎮静剤にてねむたい状態となり、リラックスして検査を受けられます。
 - ②安全性を高めるため、呼吸・心拍モニターを装着します。
- ※検査後、リカバリールームで1時間ほどお休みしていただきます。また、鎮静剤は判断力の低下、ふらつき、転倒の危険性が高まります。検査当日のお車の運転、機械操作・高所作業等はできません。

【麻酔を使用する大腸内視鏡について】

麻酔を用いた検査を 希望する 相談して決める 希望しない

【内視鏡的大腸ポリープ切除術】

- 大腸ポリープが認められた場合、その場でポリープ切除術を行うことができます。
- ・日帰り治療が可能です。
 - ・切除したポリープの大きさや個数などにより、1-2日間の安静が望ましいと判断した場合は、近隣の提携病院へご入院が必要になることがあります。



【大腸ポリープ切除に伴う偶発症】

- ・治療後1週間程度は後出血の危険性があります。
ポリープ切除術後1週間は禁酒とし、遠出の旅行・激しい運動も控えて頂きます。
- ・ごくまれに、穿孔（腸管に穴が開くこと）があります。（多数の自験例では穿孔率は0%です。）
※これらの予期せぬ偶発症は稀ではありますが、場合により入院になることもあります。
ご理解の程、宜しくお願ひします。

【ヘンミ胃腸内視鏡・内科クリニック 院長殿】

上記内容の説明を受け、質問をする機会を得て、内容を理解しましたので、大腸内視鏡検査の実施に同意いたします。なお、上記の医療を行う上で必要な処置において予期されない状況が発生した場合は、それに対処する緊急処置を受けることも併せて同意します。

年 月 日

患者様または親権者様の署名：

問診確認者：



ヘンミ胃腸内視鏡・内科クリニック

大腸内視鏡検査 問診シート

記載日： 年 月 日

ご氏名： 様 ご年齢： 歳 男・女

Q1.かかりつけ医さまからのご紹介ですか？

はい いいえ

かかりつけ医さまの名称：

Q2.大腸内視鏡検査を受けたことがありますか？

はい 初めて

Q3.当てはまる症状、目的を教えてください

便潜血反応が陽性 血便 便秘や下痢 便が細い

定期検査(自覚症状なし) その他 _____

Q4.薬のアレルギーについて

薬のアレルギーはありますか？ 薬剤名：

Q5.血をサラサラにする薬を内服されていますか？（かならず申し出てください。）

いいえ はい

当クリニック記入欄)

薬品名：

アスピリン、チエノピリジン、ワルファリン

ダビガトラン(DOAC)・リバロキサバン(DOAC)・アピキサバン(DOAC)・エドキサバン(DOAC)

その他

→休薬日： / ~ /

→置換：

アスピリン・シロスタゾール・ヘパリン・なし 確認者：

抗血栓薬の休薬により血栓塞栓症(脳梗塞、心筋梗塞など)の発症率が高くなるため、

当院では内視鏡学会ガイドラインに準じて可能な限り抗血栓薬を継続しながら内視鏡検査・治療を行います。

休薬の可否は診察にて決定致しますので、ご自身の判断で休薬しないように気を付けてください。

Q6.現在、以下に当てはまる項目はありますか？

なし

糖尿病 高血圧 貧血 狭心症 心筋梗塞 透析 脳卒中による麻痺 縁内障

心臓にペースメーカーが入っている 前立腺肥大(男性のみ)

妊娠あるいはその可能性(女性のみ)

